

鴨志田第一小学校 学校だより



キャッチボール

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamoshida1/>

令和8年6月30日発行7月号

学校教育目標

「子どもが輝き ともに学び合う 鴨一小」

動き出す一歩と差し伸べる手

副校長 榎本 勇司

先日のことです。朝の登校見守りで職員が子どもたちを出迎えていると、一人の保護者がやってきて、お礼を伝えたいと話をされました。聞けば、前日に公園で他校の1年生が遊んでいるときにけがをして泣いているところを、鴨志田第一小の3年生たちが助けて色々世話をしてくれたことに対して、感謝を伝えに来てくださったということでした。

その保護者の方からは、「この子も鴨志田第一小の子どもたちのようなお兄さん、お姉さんになってほしい。」との言葉もいただきました。そのことを3年生に伝え、誇らしげな様子でうれしそうに微笑み、教室には拍手が響きました。

また、その数日後には、個別支援学級の児童が登校中に、転倒してけがをしたお年寄りに出会い、救急車を呼んでほしいと頼まれ、近くにいた大人の方に事情を話して救急車を呼んでもらい、助けることができたということがありました。

一般に、「誰かが困っていたら助けてあげたい。力になりたい。」と多くの人は考えるものですが、実際にそのような場面に出あうと、ためらってしまうことはよくあるものです。気にはなっても実際に手を差し伸べたり、声をかけたりすることは意外と勇気が必要で、踏み出す一歩は実際の距離以上に遠く感じるものです。

そうした時に困っている人に「大丈夫ですか、何かできることはありますか。」と声をかけ、手を差し伸べることができる人でありたいと、私は思っています。

鴨志田第一小学校の子どもたちが今回のような行動を日頃からできていると知り、大変誇らしく思いました。きっと子どもたち自身も、この町の人たちにそのように支えられてきたのだらうと考えます。そのつながりが子どもたちを見守り、育て、鴨志田地域のあたたかいまちをつくっているのでしょう。

まもなく梅雨も終わり、本格的な夏がやってきます。学校が夏休みに入ると子どもたちは公園や地区センター、地域行事、公共交通機関でまちの人と接し、経験を通して多くのことを学んでいきます。

どうぞ、「われわれのまちの子」を皆で大切に育てていくために、今後とも引き続き温かいご支援をよろしくお願いいたします。